



【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		22年度	23年度	24年度	増減(24-23)
正味財産の状況	基本財産運用益	2,495	2,361	1,823	△ 538
	受取会費・受取寄付金	1,993	2,019	1,983	△ 36
	受託事業収益	8,112	6,616	5,932	△ 684
	自主事業収益	22,149	18,202	16,259	△ 1,943
	受取補助金等	82,006	37,204	33,640	△ 3,564
	その他の収益	233,310	224,385	193,587	△ 30,798
	経常収入 計	350,065	290,787	253,224	△ 37,563
	事業費	245,276	279,420	248,915	△ 30,505
	うち人件費	26,033	28,978	23,900	△ 5,078
	管理費	13,315	4,694	3,593	△ 1,101
	うち人件費	10,195	3,014	3,090	76
	経常支出 計	258,591	284,114	252,508	
	当期経常増減額	91,474	6,673	716	△ 5,957
	経常外収入	0	0	46,505	46,505
	経常外支出	91,066	7,096	45,471	38,375
	当期経常外増減額	△ 91,066	△ 7,096	1,034	8,130
当期一般正味財産増減額	408	△ 423	1,750	2,173	
当期指定正味財産増減額	△ 218,272	0	0		
正味財産期末残高	34,715	34,292	36,042	1,750	

(単位:千円)

項 目		22年度	23年度	24年度	増減(24-23)
財務状況	流動資産	60,865	40,486	42,807	2,321
	固定資産	660,875	712,801	707,072	△ 5,729
	資産 計	721,740	753,287	749,879	△ 3,408
	流動負債	28,840	14,953	15,551	598
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	658,186	704,041	698,285	△ 5,756
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	687,026	718,994	713,836	△ 5,158
	正味財産	34,714	34,293	36,043	1,750
	うち基本財産への充当額	0	0	0	
うち特定資産への充当額	3,164	3,164	3,164		

(単位:千円)

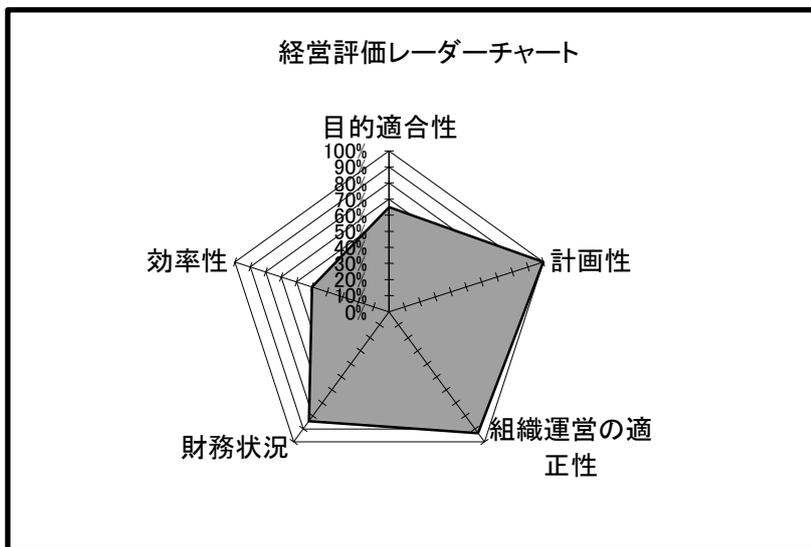
項 目		22年度	23年度	24年度	増減(24-23)
県の財政的関与の状況	負担金	0	0	0	0
	人件費(派遣法)補助金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)補助金	0	0	0	0
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	1,787	1,763	1,819	56
	補助金 計	1,787	1,763	1,819	56
	人件費(派遣法)委託金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)委託金	0	0	0	0
	人件費以外の委託金	3,925	4,009	3,649	△ 360
	委託金 計	3,925	4,009	3,649	△ 360
	県支出金 計	5,712	5,772	5,468	△ 304
	県の財政的関与の割合(%)	1.6	2.0	2.2	0
	県貸付金残高	0	0	0	0
県債務負担実際残高	0	0	0	0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	該当なし
補助金(運営費)	該当なし
補助金(事業費)	自衛防疫強化対策事業(1,419) 繁殖農家有受精卵活用事業(100) レンタル牛バンク事業(300)
委託金	高度化促進事業(2,820) オーエスキー病清浄化(829)
債務負担行為	該当なし

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	13	65.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	15	14	93.3%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	37	84.1%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	8	32	16	50.0%
合計		33	131	100	76.3%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	本協会の設立目的、定款に従った適切な運営がなされているが、目標達成率について、公益目的事業数を目標値としているため、事業計画時の公益目的実施事業について、24年度中に収益事業会計へ移動したこと等により当該達成率が減少している。
計画性	22年度に策定した中期経営計画について、24年度に実績との差異分析を行い計画の見直しを行った。今後も諸情勢の変化に対応した計画性のある運営に当たっていく。
組織運営の適正性	適正な運営がなされている。
財務状況	国・県中央団体が実施する事業を積極的に導入するとともに、適正な事業執行を行い自主財源確保に努めていく。なお、今後も、財政基盤安定のため、人件費や管理経費の見直しを継続していく。
効率性	業務評価を適切に反映させるため、賞与査定制度を導入している。業務部門の実施体制については、国等の諸情勢に対応した柔軟な対応をとっていく。
総合的評価	概ね適切に運営がなされているが、今後さらに安定した経営がなされるよう収入の確保に取り組んでいく。



対応策	行政を補完する対策を着実に実行するとともに新規事業の積極的な取り組みや資金の効率的な運用を行い、安定した収入の確保を図っていく。
-----	------------------------------------------------------------------

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	県内の畜産農家及び団体に対し経営・運営の指導、所得安定対策及び家畜の飼養管理と保健衛生に関する技術指導等を行うなど、法人の設立目的に適合している。
計画性	合理化計画に基づき各年度の具体的な事業計画を定めて運営を行っている。また各事業ごとに計画と実績の差異分析も行っており、計画的である。
組織運営の適正性	運営体制については、経営指導課と衛生指導課を統合し、より合理的な業務体制となっている。また職員についても、必要最低限の体制となっていることから、一層の効率的な業務遂行を進める体制整備が必要である。
財務状況	中央団体等からの補助が運営費の大部分を占めている。今後も、法人単独事業等に積極的に取り組むことにより自主財源を確保し、安定的な財政運営を図ることが必要である。
効率性	事業収入確保や管理費削減に対する運営努力は認められるが、必要最低限の人員で多くの事業を行っていることから、今後も効率的に事業に取り組む必要がある。
総合的評価	概ね設立目的に沿った法人運営がなされており、十分に評価できる。 今後は、中央団体からの助成金等の縮減により、法人経営が厳しさを増すことが予想されることから、より安定的な運営を行うため、法人単独事業等に積極的に取り組み、自主財源を確保していく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">財務状況</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">A (75%~)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">B (60%~75%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">C (50%~60%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">D (~50%)</div> </div> <p>※ ランク下の%は得点率の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度に策定された経営計画により、事業課の整理や退職職員の不補充による運営コスト縮減に努めており、平成24年度は経常利益、経費削減に伴う人件費比率が好転したことなどにより黒字となり、前年度のB評価からA評価の判定となった。</li> <li>・今後も、国の補助事業や委託事業の規模が変動することや中央団体の補助金等の削減により、法人経営が厳しさを増すことも想定されることから、協会単独事業の実施など自主財源の確保や管理経費の削減に引き続き取り組んでいく必要がある。</li> </ul>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立目的に従って、県内の畜産振興に寄与するため、県の施策を補完する事業等を実行し、安定的な財源確保に努めていく。このため、次の取り組みを行っていく。</li> </ul> <p>○継続する内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度に策定した経営計画について、毎年、実績の見直しを行い、これを次年度以降の計画に反映させ、着実な計画実施を図る。</li> </ul> <p>○新たに取り組む内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度に策定した中期経営計画の最終年度が平成26年度に当たるため、25年度の実績とは切り離し、早期に過去4年間の計画目標の達成度等を検証し、平成26年度中に第2次中期経営計画の基本方針策定を目指して取り組んでいく。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------